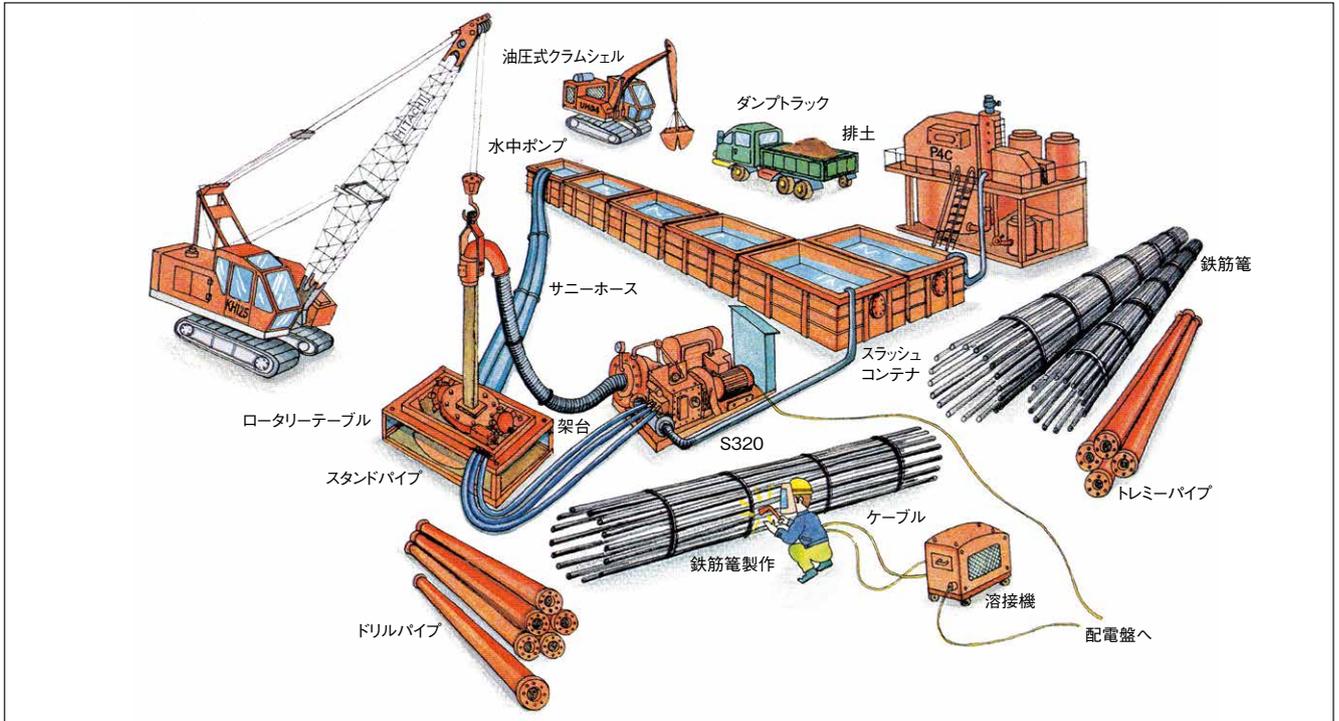
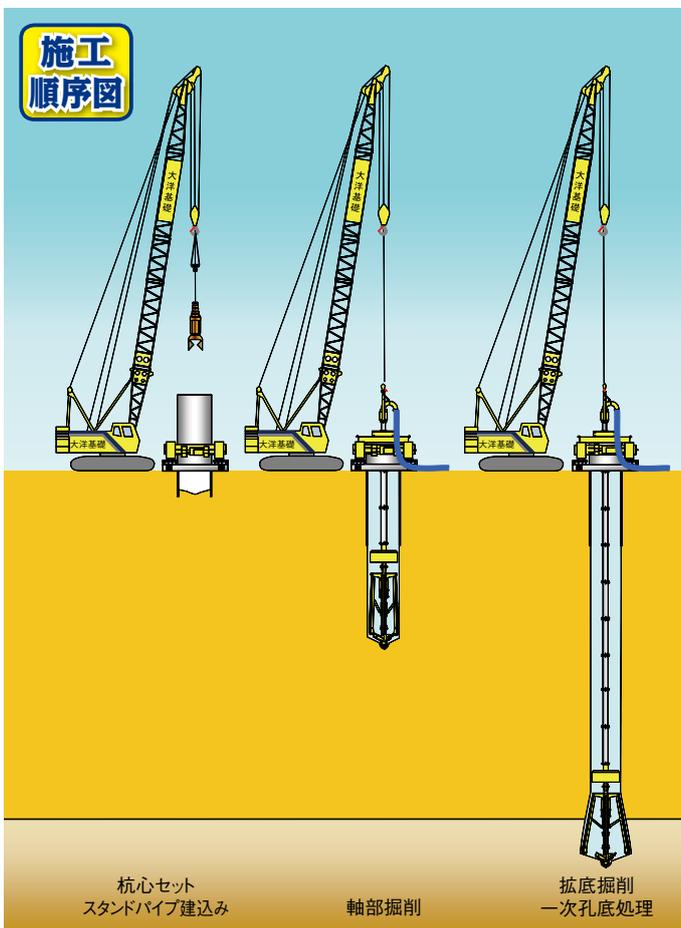


# リバースサーキュレーションドリル工法

この工法はその名の通り、掘削ビットの先端から掘削残土を泥水ごと逆循環(リバース)で連続的に吸い上げる工法です。吸い上げた泥水は、連続した水槽に残土を沈殿させ、上水を再び掘削孔内に戻します。拡底杭も可能な大口径大深度に適する工法で、掘削孔底より泥水を吸い上げるため、常にスライム処理をしている工法でもあります。しかし、この工法は循環泥水量が多く、広い敷地が必要という短所もあります。なお、当社が保有するリバース式拡底杭(WING)工法の最大拡底径は、φ4100mmです。



▲工法の全体図



▲現場施工例



▲スラッシュコンテナ(残土沈殿水槽)